

# 第3期川崎区区民会議委員名簿

別紙1

任期：平成22年4月1日から平成24年3月31日まで

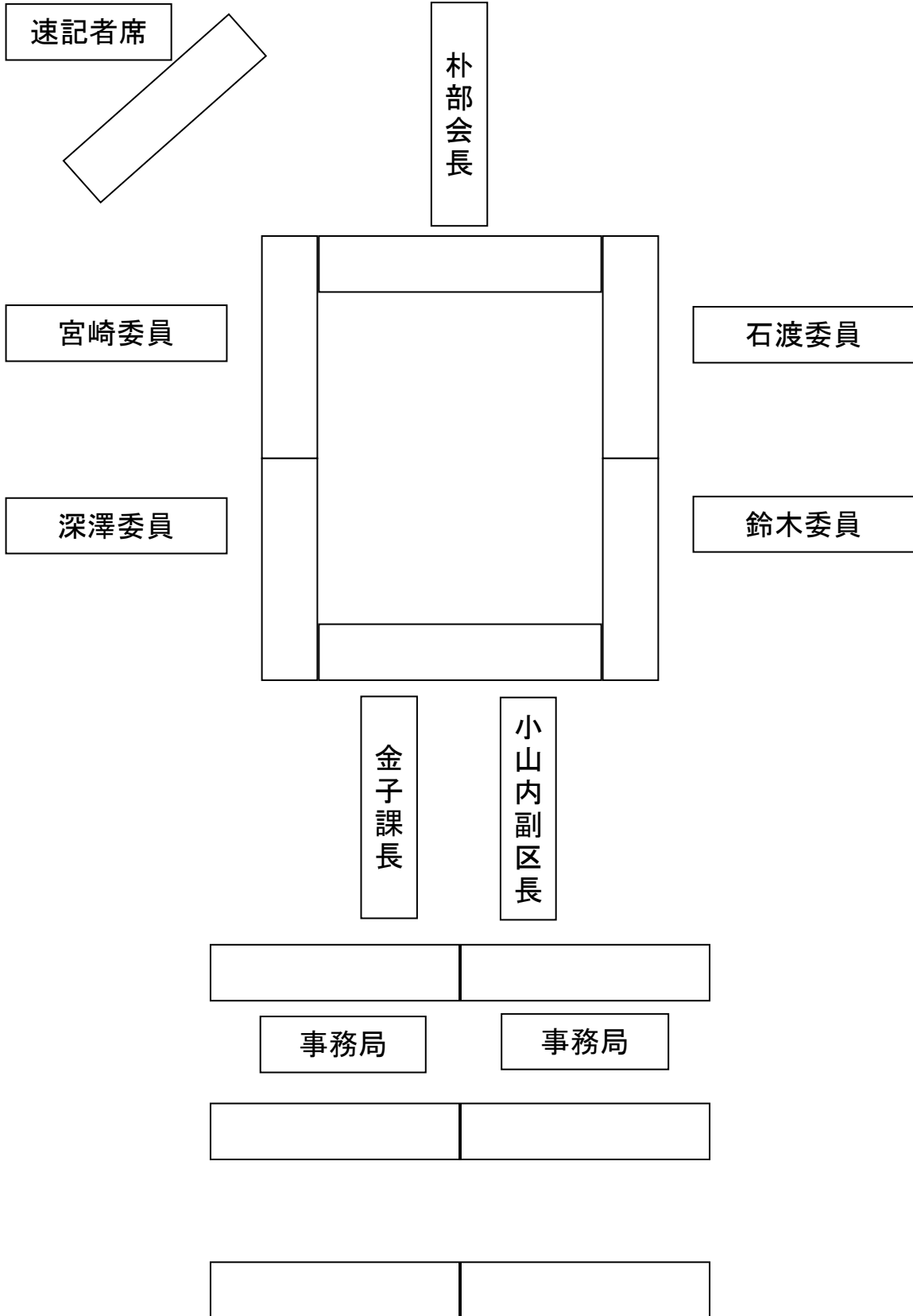
50音順、敬称略

氏名	推薦団体・分野など		専門部会			
			幹	高	子	環
あらい けいはち 荒井 敬八	川崎区文化協会	⑥文化又は観光の振興などまちの魅力を発信する分野	○			
いしわた かつろう 石渡 勝朗	川崎区保護司会	②福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野			○	
いのくま としお 猪熊 俊夫	かわさきタウンマネージメント機関運営協議会	⑤産業の振興、都市拠点の形成などまちの活力を高める分野		○		
うおつ としおき 魚津 利興	川崎商工会議所	⑧その他、各区の地域特性に応じた課題に関する分野	○			
きじま ちえ 木島 千栄	公募		○			○
しまだ じゅんじ 島田 潤二	川崎区安全・安心まちづくり推進協議会	①防災又は地域交通環境の向上など安全で快適な暮らしを支える分野	○			
すずき しん 鈴木 真	川崎区医師会（社団法人 川崎市医師会）	②福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野			○	
すやま よしこ 須山 令子	川崎区民生委員児童委員協議会	③子育て、教育などを育て心をはぐくむ分野		○		
たなべ とみお 田辺 富夫	川崎区まちづくりクラブ	⑦地域住民組織活動、まちづくり活動など市民自治を推進する分野		○		
とみた よりと 富田 順人	社会福祉法人 川崎市川崎区社会福祉協議会	②福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野		○		
ながしま とおる 長島 亨	川崎区連合町内会	⑦地域住民組織活動、まちづくり活動など市民自治を推進する分野				○
ぱく よんじゃ 朴 栄子	川崎市ふれあい館（社会福祉法人青丘社）	⑧その他、各区の地域特性に応じた課題に関する分野	○		○	
はた たけじ 秦 琢二	川崎区PTA協議会	③子育て、教育などを育て心をはぐくむ分野				○
はら のりお 原 紀夫	財団法人 川崎市老人クラブ連合会	区長推薦		○		
ふかさわ かおり 深澤 香織	すくすくかわさきっ子	区長推薦			○	
ふじおか れいこ 藤岡 玲子	川崎区市民健康の森 海風の森をMAZUつくる会	④緑の保全、ごみの抑制など自然環境又は生活環境を向上させる分野				○
ほしかわ たかよし 星川 孝宜	公募		○	○		
みやざき とみこ 宮崎 とみ子	公募				○	
よしの ちさお 吉野 智佐雄	特定非営利活動法人 かわさき歴史ガイド協会	⑥文化又は観光の振興などまちの魅力を発信する分野		○		
わしず たかし 鷺頭 多加志	公募					○

※専門部会欄の幹は幹事会、高は高齢者部会、子は子ども部会、環は環境部会

# 子ども部会 座席表

別紙2



## 川崎区区民会議 事務連絡一覧

### 1 会議公開

- ・この会議は公開で開催しています
  - ・開催することを事前に公表しています
  - ・後日(おおむね1カ月後)、会議録を公開します
- 

### 2 傍聴の注意事項

- ・全体会議は20人、専門部会は10人まで傍聴者が入場する場合があります
  - ・傍聴者は遵守事項を守り、静穏に傍聴してください
- 

### 3 写真撮影

- ・事務局が会議の記録として写真の撮影などを行います
  - ・撮影した写真は、広報物(市政だより、ホームページなど)や報告書などに使用する場合があります
- 

### 4 会議時間

- ・会議時間は2時間程度を予定しています
  - ・次第に沿って、途中で休憩を入れずに進行します
- 

### 5 会議の広報

- ・審議の結果や様子を市政だよりやホームページで広報することがあります
- 

### 6 会議録の事前確認

- ・会議録は事務局が摘録を作成し、委員などに内容の確認を公開前にお願いします
- ・発言した趣旨と異なる箇所がありましたら、お知らせください

# 実施方針(案)

対応する審議課題	地域での子育て、子どもの居場所づくり					
課題解決策	★地域の人と子育て中の親が出会う場所づくり		★こころの居場所づくり・不登校支援		★自由に思いきり遊べる場所づくり	
<b>解決策の概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人(特に高齢者)が集う場所に子育て中の母親が気兼ねなく訪れることのできるような仕組みをつくる。</li> <li>・出会う場所では、母親が地域の人に子育ての悩みを伝えたり(単に話を聞いてくれるだけでも可)、地域の人が子どもと一緒に昔遊びをするなど、各自が自由に時間を過ごす。</li> <li>・町内会館、子育てサロン、地域の縁側、こども文化センター、老人いこいの家など、様々な場所を活用する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校やゆうゆう広場にも通うことのできない児童・生徒が通うことのできる居場所をつくる。</li> <li>・まず委員が不登校の実態を知ることから始める必要があるため、こどもサポート旭町の運営状況を確認したり、不登校に関する講義を受ける。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが自由にボールを投げたり蹴ったり、思いきり騒いで走り回ったりすることのできる公園をつくる(プレーパークや緑地公園など)。</li> <li>・個人でも体育館を利用することができるようにする。</li> </ul>	
<b>主な役割</b>	<input type="checkbox"/> 区民会議 ( ) <input type="checkbox"/> 区民 ( ) <input type="checkbox"/> 市民団体 ( ) <input type="checkbox"/> 行政 ( )		<input type="checkbox"/> 区民会議 ( ) <input type="checkbox"/> 区民 ( ) <input type="checkbox"/> 市民団体 ( ) <input type="checkbox"/> 行政 ( )		<input type="checkbox"/> 区民会議 ( ) <input type="checkbox"/> 区民 ( ) <input type="checkbox"/> 市民団体 ( ) <input type="checkbox"/> 行政 ( )	
<b>解決に向けた取組スケジュール</b>						
<b>実施場所</b>						
<b>実施目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体で子どもを育てる環境をつくる。</li> <li>・母親にとっては育児の労力や悩み軽減、高齢者にとっては生きがいが持てる環境をつくる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校の子どもの支援。</li> <li>・こころの問題を抱える子どもを受け入れることのできる地域・仕組みをつくる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが子供らしく自由に思いきり遊べる環境をつくる。</li> <li>・自由に遊べる場所を確保することによって、非行に走りづらい環境をつくる。</li> </ul>	
<b>当解決策における最終的な目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局を立ち上げ、活動が自立・定着する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもサポート旭町のあり方の検討。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館を一般開放する。</li> <li>・プレーパークもしくは緑地公園をつくる。もしくは既存の公園をそのように活用できる仕組みをつくる。</li> </ul>	
<b>懸案事項その他</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動場所や集ってくれる地域の人々の確保。</li> <li>・活動場所を固定しないため、いつ・どこで開かれているのかをチラシやホームページで周知する必要がある(⇒誰が広報活動を担うのか)。</li> <li>・活動場所で怪我や事故が生じた場合の責任。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こころの問題を扱うには専門的な見識が必要となり、こころの問題に特化した課題解決策を挙げるのは非常に困難。よって、地域全体で子ども(こころの問題を抱える子どもも含め)を育てる、居場所をつくるという大きな観点で「地域の人と子育て中の親が出会う場所づくり」に統合した方が、解決策の中にこころの問題の要素を盛り込むことができ、効果的かもしれない。</li> <li>・第2回全体会議で意見に挙げた「大人の寺子屋：大人のモラル向上(特に、虐待の線引き)」について、取り扱うことができるか。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館の一般開放は要望しているが現状では困難。</li> <li>・プレーパークや緑地公園を設置する敷地がない。</li> <li>・公園の設置費用。</li> <li>・プレーリーダーなどといった役割の育成・配置が必要となる。</li> <li>・「『子どもが思いきり遊べる』環境(仕組み)を地域(大人中心)がつくり、遊びをサポートしたり一緒に遊んだりすることによって世代間の交流が広がる」ということで考えた場合、「世代間が交流する場の拡充」と統合して解決策を出していくことの可能性。</li> </ul>	

対応する審議課題	子どもの健康を考える	世代間交流による子育て	
課題解決策	★健康推進に関する取組	★世代間が交流する場の拡充	
解決策の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(MR)ワクチン接種や喫煙の問題などについて出前講座を実施する。</li> <li>・出前講座を受講した生徒を中心に、その後、啓発ポスターや標語の作成コンクールを開催する。</li> <li>・上記事業の対象は中学生とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが地域内の高齢者施設や障害者施設などを訪問する。</li> <li>・高齢者や障害者との交流手段のひとつとして、カラーリングを活用する。</li> </ul>	
主な役割	<input type="checkbox"/> 区民会議 ( ) <input type="checkbox"/> 区民 ( ) <input type="checkbox"/> 市民団体 ( ) <input type="checkbox"/> 行政 ( )	<input type="checkbox"/> 区民会議 ( ) <input type="checkbox"/> 区民 ( ) <input type="checkbox"/> 市民団体 ( ) <input type="checkbox"/> 行政 ( )	
解決に向けた取組スケジュール			
実施場所			
実施目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたち自身に健康の重要性を認識してもらう。</li> <li>・長期的には、子どもたちが親になった時に、自分たちの子どもに健康の重要性を伝えることができよう成長する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの世代であっても顔見知りの環境をつくり、地域全体で子どもを見守ることができるようにする。</li> </ul>	
当解決策における最終的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年を目途に各中学校で1回ずつ実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望する高齢者施設と障害者施設に対して1回ずつ実施する。</li> </ul>	
懸案事項 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座の講師役の確保</li> <li>・中学校側の受入体制</li> <li>・標語の活用方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在普及活動に努めている体育指導員との調整</li> <li>・カラーリングの普及状況</li> </ul>	